

Superpluck

スーパーブラック コンサート

Concert

撥弦(はつげん)楽器とは、弦をはじいて音を出す楽器で、その起源は石器時代にまで遡ります。今回の講座では、スペインの民族楽器であるギター、ピアノの前身と言われるハーブシコード、フィンランドの民族楽器であるカンテレという、三つの撥弦楽器による新しい音楽を聴いてゆきます。



2022年12月5日(月)

18:30開演 (18:00開場)

場所 愛知県立芸術大学 室内楽ホール

出演 Superpluck

講師 小林聡羅 (本学作曲コース教授)

受講料 無料 事前申込制 (定員80名/全席自由)

学内 先行申込 11月8日(火)10:00~申込受付開始
申込締切:11月11日(金)17:30まで

一般 申込 11月14日(月)10:00~申込受付開始
申込締切:12月2日(金)17:30まで

※先着順(定員になり次第締切とさせていただきます)
※一般申込は席数に余裕があれば受付いたします。
※事前申込制のため当日受付は出来ません。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルス感染症の状況により、出演者、内容等は変更または中止となる場合がございます。最新情報は大学ウェブサイトでご確認ください。

申込方法 学内 先行申込 お電話0561-76-2873
またはユニパからお申込みください。

一般 申込 お電話0561-76-2873
にてお申込みください。

(申込2日目以降電話受付は、平日9:00~17:30)

PROGRAM

ユッハ・T. コスキネン/海原
丹羽葉月/ディスロケイティド・リゾレーションズ
小林聡羅/メモリー
成木理香/岸漣・常磐松島によるパラフレーズII
~ギターのための
塚本一実/「でいご」と「すずらん」
他

スーパーブラック・トリオ(ロディー・ヴァン・ハマート、エイヤ・カンカーランタ、アッシ・カルットネン)は、ギター、カンテレ、ハーブシコードという撥弦楽器のために作曲された現代音楽を演奏している。この新しい、ヘルシンキを拠点としたトリオは2019年11月15日にフィンランドのヘルシンキにある、テンベリアウキオ教会でデビュー・コンサートを開催した。このトリオは、この楽器編成の可能性を探究し、撥弦楽器の音、音色、演奏技術における従来の発想に挑戦することを目指している。2019年以来、彼らは室内楽や独奏を含む現代音楽を初演し続けている。2022年の海を渡るプロジェクトは日本とフィンランドで行われ、現代音楽の8つの初演を含んでいる。トリオはスーパーブラック・クラブ2022-2023を企画し、そこで現代音楽に芸術と詩についての最新の議論を結合する。

【助成】スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団

お問い合わせ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 ☎0561-76-2873

(受付時間 平日 9:00~17:30)

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114 URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

アクセス

◆名古屋方面から
市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分

◆豊田・瀬戸方面から
愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車
徒歩約10分

